



[特設サイト]



[公式X]

HOKUSAI

北斎 VS 広重

大浮世絵展

佐賀新聞創刊140周年記念

HIROSHIGE

2025 7.11日
8.31日

北斎VS広重 あなたはどっち派？
夢の競演 巨匠対決！



特集

北斎・広重
大浮世絵展 開幕

佐賀新聞社が創刊140周年を記念して主催する美術展「北斎・広重 大浮世絵展」が7月11日に開幕しました。江戸時代を生きた二大絵師、葛飾北斎と歌川広重の魅力あふれる作品236点を展示。6つのエリアに分けた対決形式で楽しむことができます。7月10日の開場式で佐賀新聞社の中尾清一郎社長は「摺りの技術に注目してほしい。浮世絵は絵師はもちろん、彫師と摺師の存在が絶対に必要。いずれかが欠けてしまうと傑作は生まれません。摺りは力の加減で濃くなったり、薄くなったりするが、緩やかなグラデーションを見事に表現している。青色の鮮やかな発色にも驚くはず」と見どころを紹介しました。

2人に共通する「東海道五十三次」のシリーズ、北斎の「富嶽三十六景」や広重の「名所江戸百景」など、江戸時代を代表する二大巨匠の作品を同時に鑑賞できる貴重な機会。「この作品、どこかで見たことあるな」と懐かしさを感じたり、作品の持つ意味合いを再発見したりして…。この夏イチ押しのお楽しみ美術展をじっくりと堪能して下さい。



会場のフォトスポット

この夏イチ押しのお楽しみ美術展

傑作の魅力感じて

1 「東海道五十三次」対決
— 風物・グルメ

江戸と京都を結ぶ東海道をテーマにした浮世絵が、空前の旅ブームが起こった江戸時代後期に多くの絵師によって描かれました。当時の人々の暮らしや、にぎやかな旅の雰囲気や伝わってくる作品の数々。北斎と広重が互いに手掛けた風景画「東海道五十三次」を見比べ、色使いや表現の違いを感じて下さい。

2 「歌舞伎」対決
— 役者絵・武者絵・忠臣蔵

北斎と広重は、画業初期や画風開拓の修行期に役者絵や美人画に取り組んできました。「忠臣蔵」は浮世絵でも多彩な形で描かれており、2人も名場面や人物を描いています。現代でも人気を保つ「忠臣蔵」の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

3 「名所」対決
— 風景と江戸美人

浮世絵の主要ジャンルとして支持されてきた美人画は、「うりざね顔」や「長身」など、当時の美意識が映し出されています。日本の名所の風景画ではモチーフを図形で表現した幾何学的な空間表現を好んだ北斎と、自然だけではなく人物描写にも注力し、季節や天候などを織り込んで仕上げた広重の描き方の違いが見どころです。

二大絵師の 236 点
6つのエリアで “対決”

4 「版元」対決
— 代表作とヒットメーカー

版元の役割は出版物の総括。ヒット作を生み出すためには、流行を読み取り、大衆の求めに応えることが重要でした。北斎の「富嶽三十六景」と広重の「名所江戸百景」は2人の代表作。その才能を見出して大ヒットにつなげた版元を思い浮かべながら鑑賞して下さい。

5 「ユーモア」対決
— 滑稽絵・妖怪・文学

風景画を得意とした北斎と広重は、ほかのジャンルでも多彩な才能を見せています。北斎は「百物語」シリーズで、妖怪を不気味ながらもコミカルなタッチで描いています。広重は滑稽絵も得意とし、バラエティに富んだ作品を残しています。2人の風景画ではない作品にも注目して下さい。

6 「肉筆画」対決
— 卓越した描写力

浮世絵における肉筆画は、大量生産の版画に対し、絵師自らが画紙や画絹に直接筆で描いた一点ものです。精緻な筆使いや高価な絵具を惜しみなく使った華麗な色彩が特徴的。絵師本来の画力をダイレクトに堪能しましょう。



SNOOPY コラボグッズ
 ハンカチ (全3種・770円)、手ぬぐい (全3種・1,760円)、風呂敷 (全3種・1,980円)
 大人気のスヌーピーが浮世絵の世界に!! 「富嶽三十六景 凱風快晴」の富士山を滑る姿や「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」でサーフボードを乗りこなす様子はとても可愛らしいです。



手ぬぐい (全5種・1,320円)
 速乾性がありハンカチとして使ったり、額縁に入れて飾ったりするなど、さまざまな用途がある手ぬぐい。日常に何気ないアクセントとして加えてみてはいかがでしょうか。



トートバッグ (全6種・2,750円)
 普段使いがしやすいシンプルなデザインですが、浮世絵の迫力や趣を感じることができる商品。身につけることで、周囲の視線を集められるかも!!



アクリルキーホルダー (全8種・880円)
 北斎と広重の浮世絵の一部が飛び出し、アクリルキーホルダーに大変身!! 一つ一つを楽しむだけでなく、いくつかをつなぎ合わせて、個性あふれるオリジナルのキーホルダーにして楽しむこともできます。

佐賀オリジナルグッズなど豊富なラインナップ
大人気キャラ「スヌーピー」とのコラボ商品も
 北斎と広重の浮世絵を見終わった後はグッズ売り場に向かいましょう!! 展覧会では、佐賀会場でしか購入することができないオリジナルの商品や世界中で愛されているキャラクター「スヌーピー」とのコラボグッズなどが多数そろっています。皆さんのお好みはどれですか?
※価格は税込み。
 お支払いは現金のみでの対応になります。



葛飾北斎 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏



歌川広重 木曾路之山川



葛飾北斎 北斎自画像 (部分)



歌川広重 小林義秀、曾我時宗

200点以上の作品が並ぶ「北斎・広重 大浮世絵展」。まずは、北斎の「富嶽三十六景 五百ろかん寺さざむどう」の大型フォトスポットが迎えてくれます。会場内では作品の撮影はできませんが、ここでは可能。浮世絵の世界に溶け込んで富士山を民衆と一緒に眺めるもよし、富士山を手のひらに乗せて記念撮影するもよし。スタートから心がわくわくすること間違いありません。

高校時代に日本史を選択していたこともあり、北斎と広重の存在や「富嶽三十六景」「名所江戸百景」という代表作は教科書などで目にしたことがありました。「授業で習った作品が見られるのだから」という気持ちでいたら、そこはまるで別世界。想像していた以上の作品数に驚きました。

会場に入ると、6つのエリアを示した巨大なボードに、対決形式の内容が紹介されています。どのエリアから楽しむかは、人それぞれ。決められた順序通りではなく、自分自身が好きなエリアから見たいのです。大胆な構図や巧みな線、旅人の哀歓や四季折々の自然の景色など。どれも引き込まれる作品ばかりですが、いくつか気になった作品を紹介したいと思います。

何と言っても北斎の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」は外せないでしょう。船頭たちが船べりにしがみつくと荒れ狂う波の「動」と、その波の間に鎮座する富士山の「静」。その様子を遠近で描いた鮮明な対比に「凄みを感じました」「この絵、最近よく見るな」と思ったら、千円札

気を張らず鑑賞楽しんで!

の裏に描かれていますね。広重の「木曾路之山川」は紙を縦に3枚重ねた浮世絵で、冬の寒さや静寂がひしひしと伝わってきました。山あいを流れる川の青色以外は真っ白な雪で覆われ、水墨画に見えるのではないかと思うほどのモノトーンは必見だと思えます。

風景画以外で目を引かれたのは、広重の「小林義秀、曾我時宗」。「東海道五捨三次之内」で描かれた宿場を行き交う旅人や美人画とは違い、筋骨隆々な2人の武士から伝わってくる力強さは圧巻でした。肉筆画のエリアに飾られた「北斎自画像」は、それまで目にしてきた浮世絵とは全く別物で、異彩を放っていました。

会場内を何度も行ったり来たりすることで作品をじっくりと見ることが出来ます。音声ガイド(数量限定・600円)を聞きながら会場を回れば、より深くそれぞれの絵に引き込まれていくことは間違いありません。

「北斎と広重、あなたはどっち派?」。すべての作品を見終わったら、シールを貼って投票をしましょう。

「浮世絵のことは分からないから」と思っていました、そんなに気を張る必要はありませんでした。「浮世絵は江戸時代の庶民が楽しんだ絵画だよ」という言葉の意味が理解できたような気がします。みなさん、佐賀の地で江戸時代にタイムスリップしてみませんか。

[開館時間] 9:30~18:00(17:30最終入場)
 [休館日] 毎週月曜(祝日の場合は翌火曜)
 [会場] 佐賀県立美術館(佐賀市城内1-15-23) 2・3・4号展示室

観覧料	当日券
一般	1,300円
小中高生	500円
未就学児	無料

※小学生以下は保護者同伴で入場
 ※障害者手帳または特定医療費(指定難病)受給者証の所持者は無料(介助者は有料)
 ※佐賀新聞Begin会員、佐賀県立博物館美術館メール会員は前売り価格



歌川広重 藤栗毛道中雀 京都大仏殿(部分)



[特設サイト]



[公式X]

2025 **7.11** 日 **好評開催中!**
8.31 日

- 主催 佐賀新聞社
- 監修 中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)
- 企画協力 ステップ・イースト
- 後援 佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀市、県内20市町教育委員会、NHK佐賀放送局、サガテレビ、エフエム佐賀、NBCラジオ、ぶんぶんテレビ、RKB毎日放送、テレビ西日本、テレQ、FBS福岡放送、KBC
- 協賛 九州電力佐賀支店、メモリード、中野建設、第一生命佐賀支社、ホンダカーズ中央佐賀、ミズ・蒲上薬局、ヨネザワ、NTT 西日本 佐賀支店、ロイヤルモーターズ、原田

佐賀新聞プランニング
 ☎0952(28)2151 (平日9:30~17:30)